

# 湧 愛

YOU & I

編集：安曇野市男女共同参画広報紙編集委員会  
発行：安曇野市・安曇野市男女共同参画推進会議  
事務局：安曇野市人権男女共同参画課  
TEL：(0263) 71-2000(代)  
FAX：(0263) 71-5000



市制施行10周年を迎える節目の年に、男女共同参画の広報紙が創刊されますことに心より感謝申し上げます。

安曇野市は、雄大な北アルプスの麓に広がり、清らかな水と豊かな自然に育まれたまちです。この広報紙の「湧愛」という名前からは、清らかな水が湧き出るように「人と人のふれあい・思いやりが湧き出てくる」そのような広報紙に込めた願いが伝わってまいります。

本市は、平成20年12月には「男女共同参画推進条例」を制定し、また、平成25年3月には「第2次男女共同参画計画」を策定して、各分野において男女共同参画の推進・啓発に取り組んでいます。

しかしながら、社会には未だに性別による役割分担意識や偏見、差別が残っています。

この解消のためには、市民一人一人が、男女共同参画を身近なものと感じ、重要性を理解した上で、自分にできる取り組みを実践していくことが重要です。

男女共同参画推進会議の皆様には、平成26年2月に組織を一本化され、今まで以上に市の男女共同参画に向けた施策の推進・協力団体としてフォーラムや講座等を開催し、男女共同参画の輪を全市的に広げていただいています。

また、男女共同参画コミュニケーターの皆様には、市の委嘱を受けたボランティア組織として、地域における市民と行政とのパイプ役となり、男女共同参画の推進・啓発にお取り組みをいただいています。

この度、男女共同参画推進会議の事業といたしまして、コミュニケーターの皆様の協力を得て広報紙編集委員会を立ち上げられ、創刊に至りましたことは、男女共同参画を推進するために日頃より活動されてこられた熱き想いの賜であります。

今後は、この広報紙の発行を重ねていくことで、「男女共同参画」が市民の皆様理解され、浸透し、市の目指す「男女共同参画社会」の実現に寄与するものと期待しています。

市におきましても、男女共同参画を協力団体の皆様と協働・連携しながら、男女を問わず、また、国籍や年齢も問わない、誰もが暮らしやすく住みやすい安曇野市を目指して施策を進めてまいります。

6月14日(土) 安曇野市男女共同参画フォーラム2014 in 明科

県教育委員会教育長 伊藤学司さんの講演

## 「男女共同参画社会における

## 学びの成果が生きる生涯学習の振興」から

男女共同参画推進会議 会長 降旗幸子

講演は、「男女共同参画の集まりに県下あらゆる地域に出掛けて行くが安曇野市のように男性の方が多い男女共同参画の集まりは初めて、半数以上が男性とは心強い」との印象を述べられてから始まりました。

内容は、男女共同参画社会基本法の趣旨である「社会であらゆる分野での活動に、男女が均等に参画し、共に責任を担うべき社会」の形成をめざして、長野県のしあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)と関連づけながら今後の展望についてお話されました。

### ① 誰にでも居場所と出番のある信州の創造を

公民館発祥の地である長野県だからこそ、人と人との絆や支えあいを大切にしよう社会の中で自分らしく活躍できることが望まれる。

### ② 誰でもが再チャレンジできる社会づくりを

県民一人ひとりが持つ能力を最大限生かすことが出来る社会の仕組みを整備する。

### ③ 協働して解決する県政の実現を

地域の課題を県民や市町村などと協働し知恵を出し合う。



参加者に語りかける  
伊藤学司 さん

講演会後の参加者アンケートからは「学ぶ意識の高い県民性を改めて知った」「平日頃のコミュニティーの活動が大切である」「私たちの世代が社会への大きな力になることを知り、心に響いた」「改めて男女共同参画について考えたい」等々講演内容を好感的に受け止め、前向きな感想が多くありました。

11月21日(金) 男女共同参画講座「私の実践発表」から

## あなたは、どう生きる!! 今を

とよしな支部 等々力秀和

皆さんは一度しかない人生を、何を思い、何をたよりに、何に生きがいを感じて生活し、他人と、または、友人と、家族と時間を共有し生きてゆくのですか？

私はいつも仲間と共に、地域で何が出来るか、私の店が穂高駅通りにありますが、いつも多くの人達が、ワイワイ、ガヤガヤ、アイデアを出し合い、楽しい時間を過ごしています。

地域は皆のもの、でも個人のものである。それが共に、「おたがいさま」なんて楽な付き合いの中から、「地域づくり」をして行けたら。とかく「地域づくりとは」なんて構えることで、なんとかの会を作り、表をつくり、規約をつくり、マンネリになり、高齢化になり、続かなくなり、また、何かを求めてつながりを探す……。また、意見の違いを感じて出て行き、修復出来なくなり、地域がせばくなって付き合いも薄くなってゆく。私がいっぱいの人と出会い、話を聞きに出かけて行って助け合い自分の出来る事その仲間と共有の喜びを続けてゆくうちに、解ってもらい、共に助け合うようになる。地域をつくらうという事は、そんなものかなと協力者が増えてきました。

今は人生が楽しくて仕方ありません。来年度もいい一年だったと思える年にしたいものですね！

## 地域から

### 絆 深めて (ほたか支部)

ほたか支部は、個人の意思で加入した会員が18年間諸先輩の築き上げた活動を引き継いでいます。

6月には、地域との交流を兼ねてアレチウリの抜き取り作業と親睦会、7月は、視察研修を実施して会員の絆を深めることができました。11月の男性料理教室は、全市から男性30名が参加して、こねこねハウスで蕎麦打ちを実施しました。職員の手ほどきで、おいしい蕎麦ができました。1月は出前講座で学習、会員が仲良く学習して実践に結びついてゆくのは嬉しいことです。コミュニケーターは、寸劇・ペープサートを創作して、会員と連携して活動しています。

### 女性のための学習会 (ほりがね支部)

男女共同参画を目指すには、自分たちの知識や経験は、物足りなさを感じる。今さら知らないとは言いきれないことを、勉強する場がほしい。そんな発想で、ほりがね支部の有志3人が仲間を集め、「女性のための学習会」を立ち上げてから、1年がたちました。

講師を迎える学習会と、自由討議の会を毎月交互に開いていますが、随時募集している参加者は、少しずつ定着しつつあります。定着したら、次はスタッフ側に回り、それが共同参画につながります。

今後はさらに学習の内容を深め、皆の知識と経験を豊かにしていきたいです。

### よりよい社会を構築する知恵や行動力を (みさと支部)

公民館主催の「男女共同参画」に関わる人権学習会に参加しました。

男女共同参画は、少子高齢化が進む中、避けて通れない課題です。学習会後のアンケート集計をしてみると、家庭・地域・職場等で、見直し、改善したいという前向きな捉えがある一方で、現実には課題も山積しているのも事実であり、もっとも身近な家庭内から課題を見つけ、話し合い、改善していくことが大切であるとの意見もありました。

共同参画の理念を深め、よりよい社会を構築する知恵や行動力をもちたいと思います。

### 参画社会を目指して (とよしな支部)

コミュニケーター活動として、参画カルタを使って区人権集会に活用しています。カルタの中より読み取れる問題・考え方など、男女が共に人権を尊重し、認め合い、支え合う、参画社会を創る為にはどうしたら良いのか、話し合いの場にしています。

また男性の食の自立を促すため、料理教室も取り入れています。参加者から「料理をしてみると、大変楽しい。食べることに興味がわいた」との感想がありました。

今後も、参画社会を目指して努力していきたいと思います。

### 参画を楽しむ (あかしな支部)

明科では、「肩書無しで誰でもが、自由に自主的に参画出来る町づくり」を実践・行動する一員とし、各々多岐に活動しています。

フォーラム等で使用のペープサートの実演や、明科いいまちづくり会・消費者の会・あすなるの会等に所属したり、あやめまつり・薪能・市民活動センター・環境フェア・地区公民館活動・地区社協などの役員やお手伝い等を通して、①世代を超えた交流 ②いろいろな人からアイデアを貰う ③協力する ④参画して良かったと思える ⑤楽しむ

私たちは、こんな繋がりを目指しています。



ペープサート(紙人形劇)実演風景

### 7月15日(火) 外部団体との交流会

## 諏訪市との交流会から学んだこと

ほりがね支部 岡村崇子

7月15日(火)、諏訪市男女共同参画市民協議会との交流会がありました。お互いの活動状況の報告を受けて、参加者が感想・意見を交換し合いました。

諏訪市側のとても充実した年間実施事業を拝見して、ただただびっくりするばかり。毎月の定例会のほか、講演会、情報紙発行、視察研修、学習会、出前講座、紙芝居等々、自主的に行われている事に感心しました。



市民協議会の皆さんとともに

特に、印象に残っている事が二つ程あります。一つは、情報紙を年1回各戸に配布されている事です。「いきいきパートナー」と題し、輝いた女(ひと)や女性が生き生きと働いている職場を紹介した記事等が掲載されており、女性が働きやすい職場がある事にうらやましさを感じました。

もう一つは、市議会議員との懇談会をされていることです。

この交流会がきっかけで、安曇野市男女共同参画推進会議も活発になっていくことを願います。



安曇野市男女共同参画広報紙「湧愛-YOU & I-」が創刊。

編集は、市当局及び市から委嘱を受けた男女共同参画コミュニケーションセンターを中心とする「男女共同参画広報

紙編集委員会」が行います。

広報紙の名称には、安曇野の美しい湧水にちなんで、「あなたと私、湧水の如く共に湧き出る愛で支え合える社会づくり」との願いが込められています。

「男女共同参画社会」「誰もが自分らしく生きる社会」の実現に向けて、共に考え・歩み・深め合える手助けとなる広報紙を目指したいと思います。ご活用いただければ幸いです。

なお、コミュニケーションは5地域にいますので人権学習会等で皆様と共に考え合いたいと思っています。

ご連絡は、事務局まで。

(編集室)

### 安曇野市男女共同参画カルタ

熱心に	役職に	作られた
男女平等考えて	生かしてみよう	固定観念
共に創ろう	女性の能力	見直そう
明るい社会		



編集委員会の皆さん